

BankART Artist in Residence

OPEN STUDIO 2015

Event Schedule

※会場の表記が無いものは各アーティストのスタジオにて開催

※予約が必要なものは、中面記載の各アーティストの連絡先へ

6月

19金

高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」 13:00-17:00 / 無料 ※要予約
坂間真実 x 升水絵里香(24)「Fog」パフォーマンス 18:00- / 無料 公開リハーサル
岩間正明(37)岩間ガーデン横浜野菜販売 15:00-20:00 1袋¥100 会場:カフェ外側
99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」 19:00- 投げ銭 ダイジェスト版ライブ

20土

おどるなつこ(25)「境～木と砂と意志～」Live 15:45- ¥2,500 会場:kawamataホール ※要予約 ゲスト:イーガル / pf 蔵田みどり / vo
秋山直子(9)「カメラを組み立てる!ピンホール写真WS」 11:00-13:00 ¥2,500 ※要予約(6/15まで)
鈴木貴美子(4)「ありがとう」WS 14:00-16:30 無料 (はさみ持参)
高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」 13:00-19:00 無料
坂間真実 x 升水絵里香(24)「Fog」パフォーマンス 15:00-/18:00- 無料 ※要予約
おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」 12:00-13:00 無料 上映会
KAIE(43)「布で何かをつくるWS」 13:00-18:00 ¥2,000(ドリンク代込み) ※要予約
日下淳一(44)茶会「箱の中の雨」※要予約 11:30-/13:00-/14:00-/15:00-/16:00-/17:00-/18:00- ¥1,000
99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」 19:00- 投げ銭 ダイジェスト版ライブ
深沢アート研究所緑化研究室(42)「波動バー」 13:00-19:00 有料

21日

秋山直子(9)「カメラを組み立てる!ピンホール写真WS」 11:00-13:00 ¥2,500 ※要予約(6/15まで)
鈴木貴美子(4)「ありがとう」WS 14:00-16:30 無料 (はさみ持参)
高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」 13:00-19:00 無料
おどるなつこ(25)「あしおとで遊ぼう!タップアスレチック」 11:30-12:00/13:30-14:00 ¥500 タップWS
おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」 12:00-13:00 無料 (上映会)
坂間真実 x 升水絵里香(24)「Fog」パフォーマンス 18:00- 無料 ※要予約
NIL+ 境悠作(47)「野菜のオリジナル規格制作WS」 13:00- 無料
ウルフテーブル(17)「同じ話を異なる本で読む」 11:00-19:00 無料
岩間正明(37)岩間ガーデン横浜野菜販売 15:00-20:00 1袋¥100 会場:カフェ外側
KAIE(43)「small talk small sound」presented by Shimizu Hiroshi 13:00/15:30/16:15/18:15 ¥500(中学生以下無料)
KAIE(43)「たねよが」 11:30/12:15 ¥500(中学生以下無料) ※要予約
日下淳一(44)茶会「箱の中の雨」※要予約 11:30-/13:00-/14:00-/15:00-/16:00-/17:00-/18:00- ¥1,000
99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」 14:00-17:00 無料 (公開通し稽古)
深沢アート研究所緑化研究室(42)「波動バー」 13:00-19:00 有料

22月

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
19:00- 投げ銭制 ダイジェスト版ライブ

23火

苫野美亜(7)「高橋聡子ダンスWS」
19:00-21:00 ¥3,500/回(3日間通し¥10,000)

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
19:00- 投げ銭制 ダイジェスト版ライブ

おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」
19:00-20:00 無料 会場:カフェテラス 上映会

24水

苫野美亜(7)「高橋聡子ダンスWS」
19:00-21:00 ¥3,500円/回

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
19:00- ¥1,200(1ドリンク付) 本公演 ※要予約

おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」
19:00-20:00 無料 会場:カフェテラス 上映会

25木

苫野美亜(7)「高橋聡子ダンスWS」
19:00-21:00 ¥3,500/回

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
19:00- 投げ銭制 ダイジェスト版ライブ

おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」
19:00- 無料 会場:カフェテラス (上映会)

26金

石川理咲子(3)「Point Paint」ライブペインティングパフォーマンス
17:00- 無料

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
19:00- ¥1,200(1ドリンク付)(本公演) ※要予約

高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」
13:00-19:00 無料 ※要予約

27土

秋山直子(9)「横浜黄金町パフィー通り」
フライヤー完成記念トーク
15:00-15:45 無料 ゲスト:阿川大樹、イクタケマコト、他

苫野美亜(7)「高橋聡子ダンスWSショーイング」
16:00- 無料

高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」
13:00-19:00 無料

関根麻郎(8)「玄米四合はためですか」パフォーマンス
17:15-17:45 無料

おどるなつこ(25)「あしおとで遊ぼう!タップアスレチック」
11:30-12:00/13:30-14:00 ¥500 タップWS

おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」
12:00-13:00 無料 上映会

坂間真実 x 升水絵里香(24)「Fog」パフォーマンス
15:00-/17:00- 無料 ※要予約

岩間正明(37)岩間ガーデン横浜野菜販売
15:00-18:00 1袋¥100 会場:カフェ外側

KAIE(43)「たねよが」※要予約
11:30/12:15/13:00/15:30/16:15/18:15 ¥500(中学生以下無料)

日下淳一(44)茶会「箱の中の雨」※要予約
11:30-/13:00-/14:00-/15:00-/16:00-/17:00-/18:00- |¥1,000

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
14:00-/17:00- ¥1,200(1ドリンク付) 本公演 ※要予約

深沢アート研究所緑化研究室(42)「波動バー」
13:00-19:00 有料

28日

苫野美亜(7)
Dance Performance LIVE～Point of Departure～
会場:全館+kawamataホール
アトリエツアー 14:30-/16:30- 無料
コラボパフォーマンス 15:00-/17:00- ¥1,000
出演:KAIE、梶原洋平、濱中大作、多田佳那子、藤川卓子、
角谷沙奈美、秋山直子、NIL、安田拓郎、榎本多賀、前川加奈

高杉嵯知(C)「温もりのpresent*温贈り100」
13:00-19:00 無料

おどるなつこ(25)「踊りの創作現場～様々な視点～」
12:00- 無料 上映会

坂間真実 x 升水絵里香(24)「Fog」パフォーマンス
15:00-/18:00- 無料 ※要予約

おどるなつこ(25) x NIL+ 境悠作
「レクイエムとして選択された再生」
18:00- 投げ銭 パフォーマンス&トーク

日下淳一(44)茶会「箱の中の雨」※要予約
11:30-/13:00-/14:00-/15:00-/16:00-/17:00-/18:00- ¥1,000

99roll(48)光と影の劇場 vol.2「みなとのリボンちゃん」
14:00-/17:00- ¥1,200(1ドリンク付) 本公演 ※要予約

深沢アート研究所緑化研究室(42)「波動バー」
13:00-19:00 有料

オープニングレセプション

6月19日[金] 18:45- 一般参加費¥500

アーティストトーク@BankART Pub

毎週土曜 18:00-19:30

要1ドリンクオーダー

6月6日 大和由佳、落合有紀、土居大記、
西山功一、曾谷朝絵

6月13日 苫野美亜、リン・チャーチル、田中千尋、
99roll、神楽岡久美

6月20日 堀田千尋、宮間夕子、高橋りく、
NIL+境悠作、前川加奈

6月27日 ウルフテーブル、秋山直子、
「黄金町パフィー通り」製作委員会、
コレヨコagain2

開催済みアーティスト | 水口鉄人、佐々木愛、佐々木邦彦、多田佳那子、藤川卓子、フレッド・パファーベン、KAIE、濱中大作、升水絵里香+坂間真実、榎本多賀、石川理咲子、今 裕子、安田拓郎、八島良子、角谷沙奈美、寺田啓吾、岩間正明、おどるなつこ、モノ片下桐、都市のしおり 2015、鈴木貴美子、有形デザイン機構、星野 薫、石川慎平、日下淳一、深沢アート研究所緑化研究室、梅原徹、富田紀子、関根麻郎、アートファミリー

□お問い合わせ :BankART1929
TEL:045-663-2812 FAX:045-663-2813
studio@bankart1929.com

□アクセス BankART Studio NYK
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9
横浜みなとみらい線「馬車道駅」
6出口「赤れんが倉庫口」徒歩5分

主催:BankART1929 共催:横浜市文化観光局

BankART Artist in Residence

OPEN STUDIO 2015

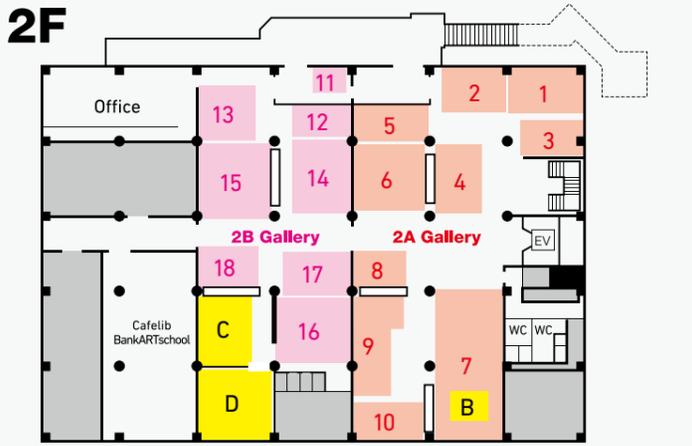
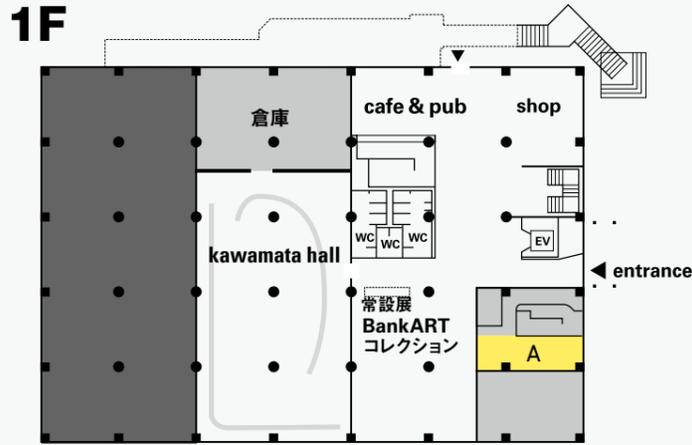
6/19Fri - 28Sun 11:00-19:00

会場 = BankART Studio NYK 入場無料

オープニングレセプション: 2015年6月19日[金] 18:45- (一般参加費500円)

OPEN STUDIO 2015

今年の4月から3ヶ月間、BankART Studio NYK内にスタジオを構え、作品を制作されているアーティスト49チームのオープンスタジオを開催します。ファインアート、デザイン、建築、ダンス等、様々な領域の方が参加されています。オープンスタジオは、**展覧会ではありませんので、作品の完成度を問うものではありませんし、まだ制作をされている方や部屋が整理されていない方もいらっしゃいますが、ありのままの作家の制作風景と作家とのコミュニケーションを楽しんでいただけたらと思います。**



2A Gallery

1 水口鉄人

絵の具によって造形した「テープ」を貼り付ける絵画作品を制作します。さまざまな種類の「テープ」を画面に貼り付け、構成することで、平面と立体との曖昧な領域を構築し、絵画空間の拡張を試みます。

□1985年広島生まれ。2014年広島市立大学大学院芸術学研究所博士後期課程満期退学。主な個展に「擬態の模倣」(ギャラリーG/広島/2014)。主なグループ展に「ゲンビどこでも企画公募 2014」(広島市現代美術館/広島/2014)、「UTOPIA」(アートベース百島/広島/2012)。2014年「ゲンビどこでも企画公募」にて福住廉賞受賞。



2 フレッド・パーベン

写真のオルタナティブプロセスに取り組みます。19世紀中期に使われていた写真初期の技法です。サイアノタイプとガムプリントに重点を置き、視覚的に抽象的な写真を組み合わせています。現代のデジタル技術と融合することで、即座に得られる満足という点では正反対の新旧の技法でお互いを引き立て合います。□米国カリフォルニア州サンフランシスコで15年間プロのカメラマンとして活動する傍ら個人的な作品も制作。来日後、2012〜2014までハンマーヘッドスタジオにてレジデントアーティストとして制作と発表をする機会に恵まれます。2014年5月、横浜・石川町に妻と新進作家の発表に特化した LAUNCH PAD GALLERYを開く。



3 石川理咲子

異なるジャンルをつなぐ「かけ橋」をテーマに、私のアーティストでありダンサーであるという個性を活かし、絵とダンスを融合させるを試みたい。トゥシューズを履いたつま先で絵を描く、ボールダンスを用いる、などのアイデアを、他のアーティストから刺激を受けることによって発展させたい。□5歳よりバレエを始め、多数の日本バレエ協会公演やファッションイベントに出演。日本女子体育大学を卒業し、演出家を志してBunkamuraなどで舞台監督助手を務めた。現在ではインテリアやファッション雑貨へのデザインやイベントを手掛け、コンテンポラリーダンス公演やミュージカルに出演している。



4 鈴木貴美子

「ありがとう」の言葉の前後には様々なドラマがあります。牛乳パックを使って「ありがとう」という言葉を世界各国の文字で切り取り、そしてつなげて作品を作ります。ワークショップを開催し、たくさんの方々の「ありがとう」も一緒につなげて一つの大きな感謝と平和のエネルギー体のような作品を作りたいと思っています。□女子美術大学卒業。90-92年渡仏。「森に生きる」(ニコンサロン新宿/2005)、2008年「それから」(ギャラリー-2001/2008)、「PULSE」(カトリック大和教会/2011)、「Parole」(森岡書店/2014)。



5 西山功一

光の状態が良い日にはBankARTの周辺の建築物を撮影します。スタジオ内では撮影の経験から発展した立体物を制作します。そして作品の設置をスタイリシ、それによってできる光と空間の構造の検証をします。またそのプロセスを撮影し、ヴァージョンとして積み重ね、オープンスタジオ時に公開します。□1968年横浜生まれ。1992年Bゼミスクール終了。主な展示「川崎発、写真の未来展」(川崎市市民ミュージアム/神奈川/2014)、「PINK ORANGE RED」(Gallery RAVEN/2013)、「FotoNovembre 2011」(テネリフェ、スペイン/2011)。



6 首谷朝絵

光や色彩、そして身体感覚をテーマにした油彩絵画、インスタレーション、映像作品の制作及び空間プロデュースを行う。作品は、初夏に開催予定のAKI Gallery (台北)での個展と、6月に京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都)にて開催予定のグループ展にも展示する。□2006年東京藝術大学大学院にて博士(美術)取得。2001年「昭和シェル石油現代美術賞」グランプリ、2002年「VOCA展」VOCA賞(グランプリ)、2013年「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」「神奈川文化未来賞」他受賞。2013年水戸芸術館にて個展開催。2014年文化庁新進芸術家海外研修員としてNYにて制作。



7 苦野美亜

8月に上演する作品の制作及び身体表現の新たな可能性の研究、ワークショップを行う。主に身体に着目し、敏捷性や空間認識を捉え、即興性を用いるパフォーマンス企画「Dance Performance LIVE ~Point of departure~」を開催する。□山本禮子バレエ団を経て、2007年中村恵恵主宰「Dance Sanga」にて活動。中村恵恵作品に多数出演するほか、振付アシスタント等を務める。2014年横浜市テアトルフォンテ・アズビル・アワード受賞を機に、意欲的に作品制作、公演、ワークショップを開催している。



8 関根麻郎

個人々々の生活や世の中に現れている状況について、そこに至る意識や人間の本質のようなものについて考えたい。そのための手だてとして自分自身の表現手段を広げつつ、何か新しい形を作り出していけたら、と思う。とりあえずは架空の展覧会「もし戦争になったらあなたは戦争画を描きますか?展」について考えながら、作品づくりを進めていこうと思う。□身近にあるモノや日常的な出来事を素材として、人として、共有する物語を考えるためのパフォーマンスや作品づくりを目指している。また役者やパフォーマンスとして、他アーティストの映像、演劇、パフォーマンス作品等へも積極的に出演している。「水際・瀬戸際・壁の裏」展(ハンマーヘッドスタジオ/2013)など。



9 秋山直子

ピンホールカメラやデジタルカメラで、街を歩きながら撮影しています。今回は平行して、舞台版「横浜黄金町パフィー通り」の宣伝デザインと写真も手がけました。完成したフライヤーやポスターは会期中にお披露目予定。同時に「コレコagain2」にも参加中です。横浜の街を探り続けたこの3ヶ月間。私の目に映った街の姿を、共有できればと思います。□1963年8月2日生れ。北海道出身。好きな形:安定性の良くない形、例えば上部が下部より大きいカップ等。好きな色:いろいろ。好きな作家:尾形光琳・若冲・ロダン・ロスコ。好きな場所:根岸森林公園・大棧橋・日本大通り+gooz。好きな食べ物:トンカツ・チョコレート・アイスクリーム。



10 佐々木邦彦

スタジオでは個展に向けて撮りためてきた写真の編集や大きなプリントを作る実験を中心に作業をする予定ですが、滞在アーティストから刺激を受けて自分の作品に新しい展開が生まれると良いなと考えています。□1977年神奈川県生まれ。幼いころには横断歩道の白い部分だけを踏んで渡るなど、どこにいても小さな発見に自分のルールを加えて遊ぶことができました。大人になるにつれ新鮮さは失われ、気にとめなくなることが増えたと感じています。私は住み慣れた街でも発見があることを伝えていきたいと考えています。



2B Gallery

11 梅原 徹

「ほんの些細で、それでも幸福なこと」をテーマに製作します。日常の中にある意識しなければ認識できない何か。その価値を他者と共有できるとき、それぞれ何を感じ、何を思うのか。□1996年神奈川県横浜市生まれ。幼少期を6年間、ドイツのデュッセルドルフで過ごす。帰国後、アート&デザインの道へ進むことを決意し、現在、横浜国立大学工学部建築都市環境系学科建築EPへと進学し、建築デザインを学ぶ。



12 今 裕子

表現を仕事(お給料をいただく)にするつもりでつくってみたい。具体的には紙で立体的な形をつくってみたい。紙は環境で変化しやすいので、時間の経過を過ごすことにより変わっていくのかそれによって観察者の目にも変化はあるのだろうか? 大きい形状をつくってみたいことが無いので、併せてこちらをみたいです。□1993年東京造形大学彫刻科卒業。2008年まで、大型立体作品の個展を中心に活動。2009年砂絵の一種「マリス」を研究開発。現代美術における[絵画鑑賞の対象をすべての人類に広げる試み]を成功させる。2010年マリスアートプロジェクト発足。国内外で個展。2012年マリス国旗プロジェクト開始。



13 コレコ again 2

講座は修了したが、その延長戦として、「コレコagain」[「コレコagain2」]の内容を書籍化することを目標に、さらに議論を深め、外部ゲスト等も招きながら、編集会議を重ねる。「again」でテーマ(分科会)は、都心・路面・人口・観光。「again2」では、居住者/当事者・不動産・小商い/co 面白い・街庭。□BankART スクール2015年1-3月期に開催された「コレコagain2」。2011年に開講、書籍化された「これからどうなるヨコハマ(コレココ)」、2013年開催の「コレコagain」の流れを汲む。佐々木龍郎氏、馬場正尊氏、秋元康幸氏らのコーディネートのもと多くの市民や行政関係者が参加し、これからの横浜のあり方を議論し、課題を共有し、打開していくきっかけをつくっていく刺激的なセッションが毎回展開されてきている。



14 佐々木 愛

作品制作と版画研修を予定。□現実の世界と人の記憶の中の世界の交わる場所をテーマに、絵画や砂絵によるインスタレーションを制作。国内外で精力的に滞在制作を行っている。2010年ポーラ美術振興財団在外研修生としてオーストラリアに滞在。2014年に静岡のベルナル・デュフェ美術館で個展「Four Songs」を開催。今年8月より水戸芸術館「カフェ・イン・水戸R」に参加予定。



15 宮間夕子

自身が育ったこの地との距離を再確認しながら真剣に作品と向き合います。「信仰心、自然」目に見えないエネルギーの渦「表面的に視覚化された中に潜む根源的なもの」「普遍性を持つ摂理、感情」「生命エネルギーの狂気」それらは神、精霊、妖怪、とその時々で呼名を変える多様な存在だと思います。そんな存在に触れ、歩み寄り、全てで対話してゆきます。□2009年横浜美術短期大学2009年度卒業制作優秀賞受賞。2012年武蔵野美術大学卒業制作優秀賞受賞。2013年トーキョーワンダーウォール入選。THE ART FAIR + PLUS-ULTRA2014 (青山Spiral Garden/2014)。◎展-東麻奈美展・宮間夕子(MASATAKA CONTEMPORARY/2015)。



16 高橋りく

第18回マリス国旗プロジェクト。通常のアクリル画の国旗を、全盲の人も含め、すべての人類にわかるマリスの国旗に一枚ずつ変えていきます。絵画鑑賞の対象を人類全てに広げる事による、現代美術における社会的実験。来場者参加型ワークショップは、混ざり合う社会と世界平和に対するメッセージ。□1993年東京造形大学彫刻科卒業。2008年まで、大型立体作品の個展を中心に活動。2009年砂絵の一種「マリス」を研究開発。現代美術における[絵画鑑賞の対象をすべての人類に広げる試み]を成功させる。2010年マリスアートプロジェクト発足。国内外で個展。2012年マリス国旗プロジェクト開始。



17 ウルフテーブル

今春より活動を開始したプロジェクト。ヴァージニア・ウルフの小説を手掛かりとし、複数のアーティストや参加者が様々な実践を行う。それは文学についての芸術実践の集合であること以上に、彼女の作品を参照することにより、一見つながりなく思える個々の活動を「日常生活についての再考の実践」として結びつけ、提案するものである。□渡邊聖子:1980年鳥取県生。早稲田大学第二文学部卒業。主にインスタレーションと本の制作を行う。写真と言葉、女性について参照する作業。□藤村豪:1980年千葉県生。早稲田大学/東京総合写真専門学校卒業。藤村豪&内野清香としての活動を中心に、出来事についての理解や共有の実際を示す実践を行う。□小塩淳子:1980年愛知県生。筑波大学/東京総合写真専門学校卒業。写真を素因とする。それを媒介、拠り所とする構成、配置の作業なのだと思う。その空間。



18 富田紀子

表現としての繊維の存在を考え、「線と線の狭間にうまれた繊維」をテーマとしたファイバーアート作品を制作する。□2010年多摩美術大学大学院 修士課程美術研究科 テキスタイル領域 修了。日本現代ファイバーアート展(多摩美術大学美術館/2011)、第3回国際現代テキスタイルアートコンベンション(ベルギー/2011)、栗島アーティストインレジデンス(2012)、TEXTILE PRESENT展(アキバタマビ21/2012)、六甲ミーツ・アート芸術散歩2014(兵庫/2014)。



3A Gallery

19 アートファミリー

横浜で出会ったアーティスト同士の温かい繋がりを大事にしながらかにはコラボレーションをしながら各人の制作活動を続けていく。オープンスタジオでは「アートファミリー展」などの名称を付け、各々の制作物を発表するだけでなく、チームとしての統一された空間を作りた。□2009年横浜美術短期大学2009年度卒業制作優秀賞受賞。2012年武蔵野美術大学卒業制作優秀賞受賞。2013年トーキョーワンダーウォール入選。THE ART FAIR + PLUS-ULTRA2014 (青山Spiral Garden/2014)。◎展-東麻奈美展・宮間夕子(MASATAKA CONTEMPORARY/2015)。



20 石川慎平

人をモチーフに木彫制作を行います。木の中から立体として削り出された形は、永遠の時間軸に乗り固着します。オープンスタジオという場を借りて、丸太や角材から形が削り出される工程と、完成した木彫制作を主に発表します。□1989年東京生まれ。2014年多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。主な活動として、個展「石川慎平 展」(京橋/2013)、グループ展「2012弘益国際美術祭」(韓国/2012)、「2013三儀国際木彫芸術祭」(台湾/2013)、「三浦かおり 石川慎平二人展「存在の気配」」(木場/2015)。



21 木の片下桐

木下直人、片桐三佳コラボレーション・ユニット「木の片下桐(きののかたしたぎり)」。これまでお互いの作品世界を尊重し、各々活動してきましたが、長女が誕生し、創造領域がシンクロナイ意外性のある展開が出現しそうです。「日常」と「社会」との間に生まれる軋軋、歪み、疎外、強迫観念等をテーマに表現していきます。□片桐三佳(画家/成安造形大学・ラジョッチャ美術学校)と木下直人(立体・インスタレーション/京都精華大学・マッサーナ美術学校)はバルセロナで出会った。共に兵庫県出身。2010年にBankART Studio NYKで結婚パーティ開催。ストライプハウスギャラリー(東京)等で個展、グループ展多数。片桐「旅の心細さや希望を、絵の具の染みに乗せ、絵画的ストーリーを紡ぎだす、Shimi-shimiシリーズを展開中」木下「自然と人間の関係、社会という入れ物の歪みをモチーフに、表現の未開の地に踏み込んでいく」。



22 八島良子

ファッションとは一体何か。人間の美しさはどこに現れるのか。横浜市で出会う人々の存在に密着し、これまで撮り続けて来た映像を軸に映像を撮影。身体とファッションの可能性を発見、追求し、ビデオインスタレーションを行う。□広島県江田島市出身。鳥育ち。18歳で上京。肉が食べられなくなる。その後、海外の各所へ渡航。身体を持つ可能性に興味を抱き、多様な文化と世界観から人間の表面を元に制作を始める。22歳で武蔵野美術大学を卒業。ファッション領域でのビデオアート、写真の制作を行う。



23 濱中大作

満天の星々と夜の海の生き物が万華鏡のように変転するような、不気味な様で肯定的な、コミカルで生き生きとした生命のしぶとさを表すような、見ると元気が出るようなアニメーション作品を作りたと思っています。平面のみならず立体との合成による映像表現や多角的な視点発想に挑戦してみようと思います。□1973年福岡県生まれ。1992年フランス ルーアン市立美術学校在学1ヵ年。2010年リトグラフを始める。2012年アニメーションを独学で始める。アニメーション「バルナス閣下のいとも憂鬱なレシピ」(銀座巷房/2015)、リトグラフ「神廟の虚外」展(銀座巷房/2014)、「楽園の物語」展+アニメ「湖畔の永劫回帰島」(銀座巷房/2013)。



24 坂間真実×升水絵里香

霧をテーマにした新作「Fog」のWork in progress。2015年末の公演形式での最終形態を目標に、ダンスクリエイションの公開制作をメインに行う。※公演予約: sakamasumizu@gmail.com □坂間真実(costume)×升水絵里香(dance)によるコラボレーションプロジェクト。"着ることも着ないこともできる服"をテーマにしたコスチューム作品を、身体とダンスによって空間を構成する。ダンス衣装としてのコスチュームではなく、コスチュームありきのダンスを考察。コスチューム、映像、空間を坂間真実、ダンスを升水絵里香が担当する。



25 おどるなつこ

障害や言語の境を越えて尊重しおどりあえる未来を願います。テラスから日々眺めていた対岸ホームレスから着想した映像作品「VOIX DE VILLE まちのうた」とその記録「踊りの創作現場～様々な視点～」上映。廃材タップ&ソプラノ、砂タップ&ピアノで表現の境界へ挑む「境～木と砂と意思」作品公開。タップWSも開催。

※公演予約:support@odorunatsuko.net
080-6506-6969(おどるなつこ)

□タップダンサー/振付家'02年へブンアーティスト認定'10年-あしおとでつながろう!プロジェクト代表'12年-ARCT文化庁芸術家派遣事業・かながわ絆プロジェクト音楽劇振付。「タップで文学」シリーズの他 室坂京子(piano ヒガマ春夫/映像 岩名雅記/舞踏 等)と即興共演。パレオ出身大道芸育ち。あしおとでつながろう!プロジェクト:ダンスで社会を変えよう!おとたが開発と福祉施設タップ。稲垣晴夏・山根裕之:設備撮影



26 テラダケイコ

前回、参加したArtist in Studio2012での展示、元町の画廊 Gallery Fu での展示を自分なりに分析し、他者や何処まで心伝い出来たのか、はたまたそんなものは無かったのか?

(日本の歴史+都市化+科学+コンピュータ)によって、人の表情、型、精神はどのような状態になっているのか?目に見える形にすることで自分の処世術的な作品になれるか?

□黄金町ナイト☆シアター「第一夜:動きだす夜」(黄金町バザール/2014)、Artist in Studio2012 (BankART1929/2012)、For Rent! For Talent! 4 (三菱地所アルティム/2008)、シンジクアートインフィニティVOL.5 (2008)、シンジクアートインフィニティVOL.3「愛」(2007)、「テラダ元町遊園地」(Gallery and cafe fu/2014)、「テラダNYK史料室」(BankART1929/2012)、「テラダヨコカイ博物館」/関内外OPEN!(宇徳ビルヨコカイ/2011)



27a 星野薫

私にとって特に重要なのは「流行り」や「ほんもの良さ」、「どうでもいいこと」である。制作しながらそれらが持つ「文脈」を把握し、それらに囲まれた自分の立ち位置を明らかにした上で今しか作れない作品を制作する。

□1990年埼玉県生まれ。GEISAI#16(2012) 出展、個展「My protective gods」(ROCKET/2012)、2015年多摩美術大学大学院油画研究領域卒業。



27b 堀田千尋

「言葉、もの、人、その存在と関性」というテーマで制作を行っています。ものと言葉、人とも、人と言葉、それらの関係は、その人の知識や人生経験によってそれぞれです。作品の中で私は、日常のものを分解し、普段、当たり前に見えるものに疑問を持って制作をしています。

□1990年北海道出身。2015年多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻油画研究領域修了。



28 落合有紀

人生の中で自由奔放に振る舞い駆け抜けることのできる時間は多くありません。その時間は限られたものだから美しくもあり儚くもあります。真っ白のキャンパスの中心に瞳の裏でフラッシュバックをするような光景を表します。光景部分には無数の穴があり、展示の際に後ろからライト又は自然光を受けて光がさすようにして輝いていることを表します。この作品を基に光の使い方、又は輝きを出すための実験的制作を行いたいです。

□1984生まれ。日本デザイン専門学校卒業。2011から2年間NYに渡り現在は日本で制作。グループ展参加やNYにて本を委託販売など活動。人や生き物の根本的要素に興味があり、生かされ死ぬとも存在するように常に二つの対極なものが同時に動いている、その上で私たちは存在しているということがとても興味深いです。



29 土居大記

今回は「人にとっての風とはなにか」を軸に考えています。ある日ふいに風に吹かれた時、ハツとすることがあります。瞳孔がひらくような、のどを通る空気が妙に新鮮になる瞬間。風は感情を動かす力がある。見ることも触れることも出来ないその不思議な力と人の関わり方を作りたいと思っています。

□男、1991年生まれ。2013年ICSカレッジオブアーツ卒業。学校でインテリア、建築空間を学び、より人の感情や感覚に近い空間の在り方を追求したくなり今に至る。過去作品「U me」「試着室」「Phantom Light」など。



3B Gallery

30 角谷沙奈美

私は制作を通し、日々の生活や経験の中に潜む普遍的なものを探してきました。今回のスタジオインでは、住居のある山に囲まれた街と海に隣接したスタジオ、2つの対極する土地にフォーカスを当て絵画制作を行います。水平線と山並みを交互に見つめる行為は、自身のこれまでの制作を振り返り、未来と向き合う意味合いも含んでいます。

□1982年青森で生まれ神奈川県で育つ。2007年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻洋画研究領域修了。2011-15年同大学洋画研究室専任助手。現在、同大学美術学科洋画専攻非常勤講師。



31 安田拓郎

今まで自宅で出来なかった、2-3m大の作品(パネルを複数枚組み合わせる)の制作を考えています。もうすでにイメージは出来上がっており、その際に大きな画面を必要とする作品だと思ったので、この度広いスペースで制作ができるということで、やってみようと思っています。

□1987年出生。2010年北里大学理学部物理学科卒業。個展に個展「BIOGRAPHY-安田拓郎初個展」(The Artcomplex Center of Tokyo/2012)。個展「COMMUNITY-安田拓郎第二回個展」(新宿眼科画廊/2014)。



32 有形デザイン機構

福島、千葉で連携しておこなう田んぼアートの過程や成果を形而上化し、再構成することにより元型としての空間を提示し、構の中に現存在たる人々の姿を想起させる植物によって作られたインスタレーションを製作します。それは農の芸術性を見つけたし、大地の力を都市の中でも発見する行為=作品に在りてしよう。

□有形デザイン機構は2003年に組織され、世界各地で自力建設による参加型の造形教育と社会問題の解決手法としての空間作りを行っている。代表作としてナント市 ビエンナーレ・エスティエルのインスタレーション。2011年より福島において震災復興の一環として文化支援活動を行う。その活動において千葉のMinowa Rice Field、ピストロツレイユ、福島の農家と協働してアートイベントを開催している。主たるメンバーは丸山欣也・浅沼秀治・小川将克・増田貴行、遠藤友幸・横山真由美・斉藤徳高、美濃輪明史・近藤なごさ、樋口陽子



33 榎本多賀

制作中のシリーズ作品のうち、『哀、愛』をテーマにした着物を型染めにより制作する。スケッチ、草稿、型紙彫り、糊置き、染色等の型染めの一連の作業を記録しながら制作する。とらわれない自由な線を求める。また、作業の正確さを高め、作品の密度を上げる。作品の実態を感じてもらえるよう、完成している着物も展示する。

1981年横浜市生まれ。2004年桑沢デザイン専門学校中退。2008年沖縄県立芸術大学美術工芸学部デザイン工芸学科染織専攻染織コース卒業。大学では紅型を学び、着物の制作を始める。大学卒業後、接客業デザイン業を経験し、再び作品制作を始め、現在に至る。朝日現代クラフト展入選。新匠工芸会展入選2回。



34 都市のしおり2015

【明治大学理工学研究科倉石信乃研究室】

住宅街など、ふだん余り表象されにくい横浜の諸相にも着目する撮影・研究プロジェクト。スタジオを、現在進行形でイメージがストックされる展示=アーカイブ空間として想定し、ヨコハマのエキゾチックで華々しいイメージからはこぼれ落ちてしまう、「常態」としての都市の分析とこれに関わる写真の展示を行う予定。

□倉石信乃:1963生まれ。明治大学大学院理工学研究科教授。1989-2007横浜美術館学芸員として、中平卓馬展などの企画展を担当。著書に「スナップショット-写真の輝き」(2010)など。

□笠間悠貴:1980生まれ。写真家。明治大学大学院理工学研究科博士後期課程在籍。個展に「Air」GALLERY mestalla (2014)など。

□寺畑保雄:1991生まれ。写真研究。明治大学理工学部在籍。

□橋口静思:1985生まれ。美術館学。明治大学大学院教養デザイン研究科博士後期課程。

□山本大樹:1991生まれ。写真研究。明治大学大学院理工学研究科博士前期課程。



35 藤川卓子

日常の中に何気なく存在しているものたちを表現しています。鉛筆、ペン、墨などの線描での表現極めていきながら、アクリル画なども描きます。水泳選手がトレーニングで自転車に乗る感じでしようか。すべての表現は繋がっていると思います。

□女子美術大学絵画学科日本画専攻卒業。線描によるイラストレーションを中心に、主に平面作品の制作を行います。



36 「黄金町パフィー通り」製作委員会

劇中使用オブジェ及びドローイングの公開制作を致します。岡田裕子はオブジェのイメージドローイングを制作、山田裕介は大岡川畔の桜の木オブジェを制作します。制作過程は撮影し、作品が完成されていく様子を時系列でならべて展示していきます。

□「黄金町パフィー通り」製作委員会は、黄金町レジデンス・アーティストの阿川大樹氏の小説『横浜黄金町パフィー通り』を舞台化するべく活動中です。会長は黄金町で劇団を主催する田口浩一郎。同委員で黄金町にスタジオを構える現代美術家・岡田裕子と彫刻家・山田裕介がバンクアート・レジデンスの作品制作を担当します。



37 岩間正明

道路地図を素材にして、地図を5ミリ幅に糸状に切り裂いて、小型機織り機を使って織り上げ、いわゆる裂き織りにより作品を制作します。今回のレジデンスでは、とくに日本の海岸線を織り上げて地図を復元させ、日本の複雑な海岸線の美しさを表現します。

□1947年生れ。リタイア後、アート制作を開始。2011年、12年BankART Artist in Residenceに参加、2012年7月~14年3月ハンマーヘッドスタジオ(HHS)にて制作、2013年9月初めの個展(元町)11月HHSにてグループ展「水際 瀬戸際 壁の裏」、2014年3月「撤収展」に出展、その後公募展「人間展」(金沢)等に出展。



38 リン・チャーチル

アートは共同作業であり、コミュニケーションだと思う。しかしつねに孤独な冒険だとも思っている。滞在期間中、これまでの自分のスタジオでの仕事を淡々とまた即興的に継続すると共に、紙の舞台美術、或いは「紙の茶室」を作ることと考えている。ほかに、英文添削とか、海外のお客様の案内とかも買って出ます。どうぞお声がけ下さい。

□1944年バーミンガム(アラバマ州)で生まれる。ウェズリー大学(マサチューセッツ)で美術と物理学を、チェレン大学(ニューオリンズ)で美術、実験演劇を学ぶ。70年代、レイク・エリー大学(オハイオ)で非常勤講師。2002年より日本在住。紙と土を素材とする作品制作を行う。また、テコンドーとのコラボレーションでパフォーマンス作品を制作する。



39 神楽岡久美

「光を掴む -Picking Grain of Light-」の制作。様々な、光の粒のサイズ、パターンによる視覚的情報の追求となる。いつ、どこで、どんな光の粒を掴むことができたかを記録することで、光の粒を束にした光のブーケ、つまり新たな視覚的情報発見へとつながらないか、制作を通し探る。

□東京都出身。2012年、武蔵野美術大学大学院造形研究科 デザイン専攻 空間演出デザインコース修了。後、玩具デザイン会社にて、玩具・雑貨の企画開発、デザイン、撮影、広報、展示空間ディレクターをつとめる。2015年、作家として活動をはじめ。



40 多田佳那子

思考と制作の発展→男と女、西洋と東洋、首都と地方、部外者と内部者、母国語とそれ以外の言葉など常に2つの間で決定力が鈍るような自分の感覚をもっと作品に使いたいです。
□2013年弘益大学校 交換留学。2015年武蔵野美術大学大学院修士課程美術専攻油絵修了。主な展示に、「愛の中のひとり」(Bambinart gallery/2014)、「君が望むなら」(Art Center Ongoing/東京/2014)。ザムウォール美術館(韓国/2013)。



41 前川加奈

私の作品は、私自身も体験し得なかった過去の出来事を、体験者の記憶や現状から思考し再構成したイメージを具現化したものである。作品が違うかたちの過去となって見る側の人間の中に残ることは可能なかを模索中。
□美術作家・SIN ART PRODUCTION 代表。2010年女子美術後大学卒業。個展 gallery AB-OVO/東京/2011、SUIFF OUT 2013 参加(大阪/2013)、個展 ArtComplexcenter Tokyo/2013、個展 三鷹ユメノギャラリー/東京/2015。



42 深沢アート研究所 緑化研究室

主に植物・鉱物の色により、エネルギーを展示・処方する、ファーマシー(的展示制作)。植物の色、波動を転写。みえないけど、あるもの存在を研究・表現する。"鉱物である、岩塩や花粉の結晶など、波動エネルギーを積極的に体に取り込もう"とする、「波動バー」時々オープン。

□2003年より山添ジョゼフ勇と深沢アート研究所"をはじめ。以降、植物と現代アートを軸に展示・子どもワークショップを精力的に活動。2013年よりイギリスのRoyal College of Art、世界最古のオーガニックガーデン研究施設 "Garden Organic"、バイオダイナミック農法の "Shire Farm" で研修・活動。



43 KAIE

KAIEが旅や日常で巡り合った大切なモノ達をスタジオに持ち込み、縫って編んで織り込んだビクニックインスタレーション。オープンスタジオでは、おしゃべりや寝転びながらのSLOWな空間を体験できます。「捨てる前にそれが再利用出来るかどうか考えてみて」というKAIEからのメッセージが込められています。

※イベント情報、申し込み先

http://www.kaieh.com/#!contact/czpl
□「RE:お古」をテーマに、古着や植物を再生するリメイク作家。旅先での鳥肌が立つような印象に残る体験からインスピレーションをもらい、縫う編む刺るなどの様々な技法で作品を制作。出来上がった作品はアクセサリーとして体に身につけたり、インテリアとして部屋に飾ることでチャーム的要素も兼ね備えている。



44 日下淳一

千利休が造った二畳の茶室「待庵」。亭主と客が間近に座すことで緊張感が生まれると言われています。交流または制作の必要最小限の空間を二畳と設定し、その狭小空間で茶約を削り、袋物を縫うなど茶道具類を制作します。そして、オープンスタジオへ向け二畳の仕事場は茶室と化し、制作した道具類を用いて呈茶を行います。
※茶会予約: kusaka@yk.rim.or.jp
(氏名、参加希望日時、人数をお知らせ下さい)
□日下淳一: 横浜市在住。美術家。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。花嫁衣裳をスーツにリメイクし、全身にLEDを取り付け光り輝く姿で街頭などへ出没するパフォーマンスで知られる。
□徳永宗太: 横浜市在住。茶道裏千家準教授。文化女子短期大学専攻科修了。伝統様式と先端技術を交差させた「夢幻の茶会」を開催。



45 田中千尋

研究実験・試作の場とする。オリジナルのテキストの開発には、多種多様な手仕事を施し、照明に応用可能な素材を模索する。素材の機能の再構築には、機能素材、資材、建築材など、その物がもつ機能を他の分野に応用できないかを検討する。作品を展示。撮影を行う。
□ファッションの世界でテキスタイルと企画デザインに携わった後、2005年に独立。照明器具ブランド「CHIHIRO TANAKA」設立後、国内外で積極的に作品を発表。2015年に10年の光の創作活動を迎える「Light Couture(ライトクチュール)展」を開催。



46 大和由佳

6月に名古屋で予定している個展のためのインスタレーション、ドローイングの制作。新しい写真作品のための試作、撮影。身体表現についてのリサーチ。
□愛知県生まれ、京都市立芸術大学修士課程修了。おもな展覧会に、Collecting Time (Espace Cheminée nord/2014)、新鋭作家展(川口市立アートギャラリー・アトリア/2014)、中之条/名古屋 (Gallery HAM/2014) など。



47 NIL+ 境 悠作

様々な規格で選別された野菜と、その一定の基準から漏れた売れない野菜(規格外)を対比させ、規格、ラベルに対する消費者の意識、選択に焦点を当てる。消費者からは普段隠されたヒエラルキーを顕在化することで、当たり前に受容していた価値観を新しく捉え直す。最終的には、ワークショップも含めた体験型の展示を目指す。

□NIL: 1987年神奈川県生まれ。State University of New York at Binghamton 卒業。インスタレーション、コンセプチュアルアートを主体とした領域横断的な表現手法を用い、アートの定義、感情の根源、コミュニケーションの方法を追求する。
□境悠作: 1988年東京都生まれ。18歳の頃にアメリカに留学した後にデザイン専門学校にてデザインを学ぶ。アート、デザイン共にクリエイティブな行為と考えその融合を目指し活動する。



48 99roll

クククーン(テント劇場)を立てこみ、光と影の劇場シリーズの最新作「みなとのリボンちゃん」を制作上演。ゆるいリボンちゃんの家出中のマチルダが再開発に揺れる港町の住人に寄り添う小さなサスペンス。ククーン内いっばいに光と影がかめぐるライブファンタジー。

※公演情報・チケット予約
99roll.com 電話070-5574-5712
□99roll=クククーン。演劇、パフォーマンスの企画制作ユニット。人形、ダンス、映像をミックスした「劇場で見る絵本シリーズ」、光と影を使った「光と影の劇場シリーズ」にて子供から大人まで楽しめる舞台作品を上演。参加: 関根好香、古川真央、山本コーゾー、モトカワヨコ、nao、國分郁子。代表: 菅野直子(明治大卒。パタラマフマラ舞台芸術研究所卒業後、第8回AAF 戯曲賞受賞。)



セバスチャン・シェール

広島市立大学に留学中。
6月1日～30日の間 BankART Studio NYK にゲストレジデンス。
日常のルーティーンから逸脱して、新しい視点から世界を捉え直すことを自分自身のテーマにしている。自分と環境を内省し、立ち位置を変え、ドミノ効果のように劇的に世界の見方を変えていきたい。今回の滞在制作では、メディアを問わず、新しい体験を試みたい。社会生活に急がされる日常で、ひとが自信を失っていくのは何か、と言うことに一番関心がある。

□1980年ドイツ東部ゲララに生まれる。30歳のときから美術を学ぶ。2012年、アンカラ(トルコ)のハセテベ大学でインターン。2013年夏、ギリシャを中心に6ヶ国の大学、文化施設を繋ぐランドアートプロジェクトに参加。2014年シュバールカッセ銀行の委嘱により17の彫刻作品を制作。



A 松本秋則



不思議美術家。1951年生まれ。1978年より創作活動を始め、現代日本美術展、日本国際美術展、ヘンリー・ムーア大賞展など数多くに出品する。1992年五島記念文化財団の助成で、1年半アジア7ヶ国で少数民族の芸能を研究。1999年、第9回バンガラデシュ・アジア・アートビエンナーレでグランプリを受賞。現在は美術館、ギャラリー、公園、民家などさまざまな場所でサウンド・インスタレーションを展開中。

B 中村思恵



ローザンヌコンクールにて受賞後、渡欧。イリ・キリアン率いるNDTで活躍の後、振付活動を開始。2007年横浜に拠点を移す。新国立劇場やNoism、K-Balletなどの委嘱作品も多く手がける。芸術選奨文部科学大臣賞、横浜文化賞等の受賞歴を持つ。

C 高杉嵯知



1997年、佛教学加行課程修了。知恩院にて僧籍少僧を得、1999年より水墨観音画を描く。2000年より個展「銀河観音」を横浜・京都・鎌倉・銀座・鹿児島・米国にて開催。中国とベルギーでの国際展やルブル・国立新美術館にて展示。新聞連載、雑誌、CM、テレビ、ラジオ出演。著書「銀河の彼方より」。東久邇宮文化褒章受賞。
※予約: sachian.gk@docomo.ne.jp

D タカノ綾



画家。埼玉県生まれ、多摩美術大学卒業。カイカイキキ所属。主な個展に「Stars, flowers and honeymoon」(シーボルトハウス/ライデン/2011)、「世界の間」(Kaikai Kiki Gallery Taipei /台北/2010)、「Artiste du New Pop SWR3 2010」(Frieder Burda美術館/バーデン=バーデン)、「Reintegrating Worlds」(スカルスレッド・ギャラリー/NY/2009)、「Tradition and modernity」(ミロ美術館/バルセロナ/2007)、「タカノ綾」(リヨン現代美術館/リヨン/2006)等。

E 開発好明



日常にあるもの、出来事や関心をモチーフにインスタレーション、パフォーマンスなどを行い、コミュニケーションを題材に記憶や時間、経験をかたちにした作品を発表し続けています。2011年より震災支援活動「ディリリー・アートのサーカス」主宰。多くのアーティストとともに、アートで出来る事を継続的に提案しています。